

令和 7 年度日本植物病理学会関西部会のお知らせ

令和 7 年度関西部会開催地委員長 高野 義孝

令和 7 年度日本植物病理学会関西部会を下記のとおり開催致します。万障お繰り合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

I. 会場と日程

- ・会場：京都大学吉田キャンパス 北部構内 農学部総合館
〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 (<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja>)
- ・日程：令和 7 年 9 月 18 日（木）11:30～ 受付 ＜農学部総合館 W100 前＞
13:00～14:00 総会・部会長講演 ＜W100＞
14:10～17:40 一般講演 ＜第 1～3 会場＞
18:00～20:00 情報交換会＜北部生協会館＞
令和 7 年 9 月 19 日（金） 9:00～12:00 一般講演 ＜第 1～3 会場＞

II. 開催地ホームページ

- ・参加登録，発表者登録，講演要旨受付などは下記よりお願いいたします。
<https://forms.gle/kkrGgQ5Qazp4WpyR9>

III. 参加申込

- ・締切：令和 7 年 8 月 29 日（金）
締切以降，HP からの事前参加登録はできません。
- ・参加費等：参加費 正会員および非会員 4,000 円（8 月 30 日以降は 6,000 円）
学生会員および学部生会員 2,000 円（8 月 30 日以降は 3,000 円）
：講演要旨集をご希望の方 1 部 2,000 円 より別途ご注文いただけます。
部会終了後の発送になります。
：情報交換会費 5,000 円（学生 3,000 円）

植物病理学会員の参加費・情報交換会費は非課税となります。

講演プログラムおよび要旨集は，9 月上～中旬までに学会ホームページにて公開し，参加登録者は無料でダウンロードいただけます。
名札は当日受付にてお渡ししますので，部会参加期間中は必ず携行してください。

・要領：Google form を利用したオンライン参加登録を行います。上記アドレスにアクセスし、参加登録を行ってください。参加登録は参加者 1 人ずつ行ってください。お支払方法は、銀行振込のみとなります。参加費・情報交換会費・講演要旨集代をまとめて、下記口座に ATM もしくはネットバンキングでご入金ください。複数人による同時送金をご遠慮ください。振込時に、**参加登録時に発行される受付番号の下三桁と参加者ご自身のお名前を必ず併記してお知らせください（例：001 ミネアキラ）**。手数料は別途ご負担願います。

郵便振替口座 記号 11320-番号 15257791

【他行からは】

ゆうちょ銀行 一三八（イチサンハチ）支店（店番 138）普通預金 口座番号 1525779

口座名義： 社）日本植物病理学会

IV. 発表申込 と講演要旨の作成要領

・締切：令和 7 年 8 月 8 日（金）

・要領：発表ができるのは日本植物病理学会会員（令和 7 年度会費納入者）で、1 人 1 題とします。発表希望者は、参加登録後に受信するメールに記載の URL より演題登録をお願いいたします。講演要旨は、**演題登録後に受信するメールに返信**する形でご送付ください。要旨は「講演要旨原稿作成要領」に従って MS Word のファイルで作成し、ファイル名を「参加受付番号+発表者氏名.docx」としてください。**「III. 参加申込」, 「IV. 発表申込と要旨原稿の投稿」をもって発表の申し込みと致します。**なお、講演要旨は、座長等による審査の後に「日本植物病理学会報」に掲載されます。

V. 発表の形式とデータ提出

・発表形式：発表は口頭のみで行います。ポスター発表は行いません。

・口頭発表要領：口頭発表は討論時間を含めて 12 分程度を予定していますが、演題数によって変更することがあります。発表用ファイルは、前もって Windows 版「PowerPoint 2021」で正常に表示されることを必ずご確認ください。ウイルスチェックをお済ませの上、USB メモリーに保存してください。ファイル名はすべて半角英数字で「講演番号-発表者姓.pptx」として下さい（例「001-Ito.pptx」）。**発表用ファイルは、初日に発表の方は 9 月 18 日の午前 9 時 30 分から 11 時の間に、2 日目に発表の方は 9 月 18 日の午後 4 時まで、PC 受付（W102）にてパソコンにコピーし動作確認をお願いします。**お持ちいただいた USB メモリーはその場で返却致します。なお、サイズが重いファイルはパソコン動作に不具合をきたすことがありますので、なるべく軽いファイルをご準備ください。

VI. 宿泊と交通

開催地事務局では宿泊・交通等の斡旋を行いませんので、各自で手配をお願い致します。

＜会場（吉田キャンパス）までのアクセス＞ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>

◆ JR 京都駅から市バス利用（所要時間：約 30～35 分）

【7 系統】A2 乗り場から「四条河原町・銀閣寺」行き → 「京大農学部前」下車 → 徒歩約 5 分

【206 系統】A3 乗り場から「三十三間堂・清水寺・祇園・北大路バスターミナル」行き → 「百万遍」下車 → 徒歩約 10 分

◆ JR 京都駅から電車利用（所要時間：約 35～40 分）

JR 奈良線に乗り換え東福寺まで約 2 分、京阪本線に乗り換え出町柳まで約 15 分、出町柳駅から徒歩で約 15 分

※大学内の駐車場はご利用いただけませんので、お車でお越しの方は周辺の有料駐車場をご利用ください。

VII. ネットワークについて

学内の無線ネットワークには接続できません。eduroam をご利用の場合は事前に接続アカウントを準備してお越してください。

VIII. 昼食について

学食を利用できますが混雑する可能性があります。大学周辺に多数の飲食店がありますのでご利用ください。

IX. 連絡先

・令和 7 年度関西西部会の各種お問い合わせ等は、関西西部会開催地事務局へお願いいたします。

令和 7 年度日本植物病理学会関西西部会開催地事務局

〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院農学研究科（峯・三瀬・小川・高野）

TEL: 075-753-6148

FAX: 075-753-6133

E-mail : mine.akira.8c(at)kyoto-u.ac.jp

※メール送信の際は(at)を@に置換して下さい

京都大学吉田キャンパス 北部構内案内図

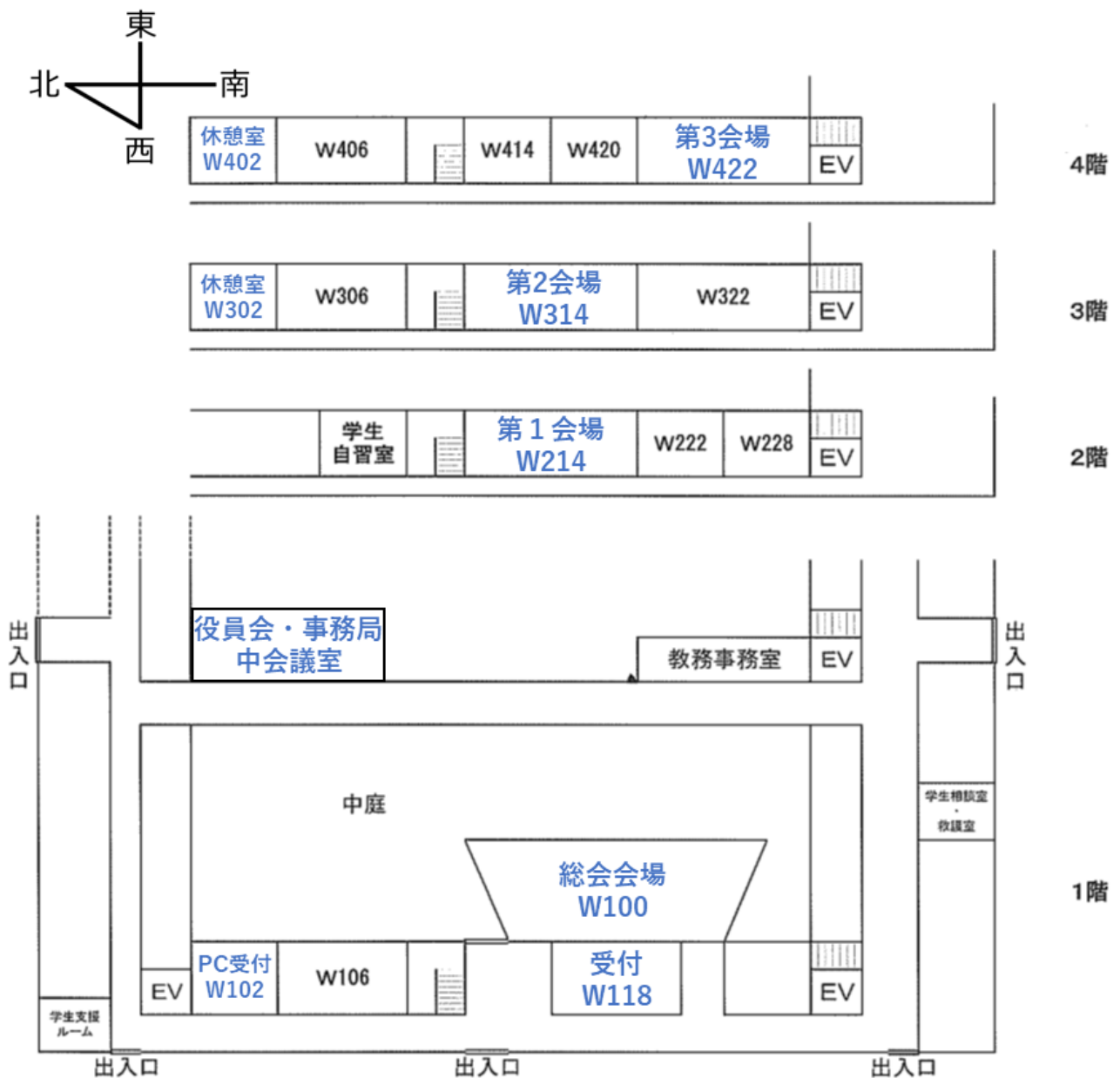


農学部総合館内案内図

- ・ 総会 W100
- ・ 第1会場 W214
- ・ 第2会場 W314
- ・ 第3会場 W422
- ・ 受付 W118
- ・ PC受付 W102

- ・ 休憩室 W302, W402
- ・ 事務局 中会議室
(役員会 中会議室)

【情報交換会 北部生協
(総合館南側)】



令和7年度関西西部会講演要旨原稿作成要領（昨年度と同じです）

※講演要旨様式テンプレートファイル（R7Kansai_form.docx）が、日本植物病理学会ホームページ＜研究集会（2025）—関西西部会（<http://www.ppsj.org/meeting.html>）＞からダウンロードできます。

＜全体の大きさ＞

- ・和文講演者氏名から所属略称までが、縦 73 mm，横 161 mm の枠に収まるようにする。
- ・1つのファイルに収める講演要旨原稿は1つとすること。

＜ページ設定＞

- ・用紙サイズ：A4 用紙，縦方向。
- ・余白：上 15 mm，下 30 mm，左 25 mm，右 25 mm。
- ・文字数と行数：「文字数と行数を指定する」を選択し，文字数 50，字送り 9 pt，行数 51，行送り 14 pt。

＜配置＞

両端揃え（所属略称のみ右端揃え）

＜フォント＞

- ・フォントサイズ：すべて 9 pt。
- ・日本語用フォント：平成明朝または MS 明朝（但し和文題目のみ平成角ゴシックまたは MS ゴシック）。
- ・英数字用フォント：Times New Roman。すべて半角。
- ・句読点：「，」「．」
- ・イタリック指定：題目，本文中とも学名などイタリックにする必要があるものはすべてイタリックで表記。

＜和文講演者氏名＞

（1行）講演者が複数の場合は中点「・」で区切り，発表者名の前に丸印「○」をつける。所属が異なる場合には，上付き番号「¹」「²」で区別する。

＜和文題目＞

（2行以内）フォントは平成角ゴシックまたは MS ゴシックとする。

＜英文講演者名と英文題目＞

（2行以内）氏名は，family name，first name initial，middle name initial の順に書き，initialの間にはスペースを空けない。講演者名と英文題目の間は，コロン「:」で区切る。

＜本文＞

9行以内で記載する。

＜所属略称＞

（1行）括弧「()」に入れ，右端揃えとする。複数の場合は中点「・」で区切り，和文講演者氏名に対応させて上付き番号「¹」「²」をつける。

<講演要旨原稿の下に、以下の情報を記入>

- (1) 発表希望分野（「菌類病」,「細菌・ファイトプラズマ病」,「ウイルス・ウイロイド病」,「植物保護」の中から1つ選ぶ）
- (2) 発表内容（「分類・同定」,「検出・診断」,「病原体の性状」,「発生生態」,「感染生理」,「病原性・抵抗性」,「防除薬剤・薬剤耐性」,「生物防除・防除法」,「その他」の中から1つ選ぶ）
- (3) 対象植物（和名または学名で示す）
- (4) 対象微生物（和名または学名で示す）
- (5) 原稿送付者の氏名
- (6) 原稿送付者の E-mail アドレス
- (7) 発表者の学会会員番号（会員番号は封筒の宛名シールに記載されています。令和7年度会費未納の方は、至急会費をお支払いください。）

講演要旨原稿の例（本文は9行以内を厳守!）

○峯彰¹・京大太郎¹

Tn7 トランスポゾンを紹介した *luxCDABE* オペロンのゲノム挿入による *Pseudomonas syringae* の植物内増殖の定量と可視化

Mine A., Kyodai T.: Quantitative assay and visualization of *in planta* growth of *Pseudomonas syringae* enabled by Tn7-mediated chromosomal integration of the *luxCDABE* operon

植物の抵抗性や細菌の病原性の評価には、感染植物における細菌数の定量が欠かせない。細菌数の定量に用いられるコロニーカウント法は、煩雑な工程を多数含み、多大な労力と時間を要する。我々は、Tn7 トランスポゾンを紹介して、*Photobacterium luminescens* 由来の *luxCDABE* オペロンを細菌ゲノムの特定部位に挿入する種々のプラスミドベクターを構築した。これらのベクターを用いて、様々な植物病原細菌の発光株の作出に成功した。*Pseudomonas syringae* pv. *tomato* DC3000 の発光株 (*Pto-lux*) を接種した組織から直接測定した発光量は、シロイヌナズナ、ベンサミアーナタバコ、トマト、ゼニゴケにおける細菌数を正確に反映していた。重要なことに、*Pto-lux* およびその遺伝子破壊株を利用して、植物内の細菌増殖に対する植物免疫や細菌の病原性因子の影響を評価することができた。本研究で構築したベクターと *Pto-lux* 派生株は、植物内における細菌増殖の定量を容易にし、植物と細菌の相互作用に関する遺伝学的解析を加速するものと期待される。……………(本文9行以内厳守!!!)

(¹京大院農)

- (1) 細菌・ファイトプラズマ病
- (2) 病原性・抵抗性
- (3) シロイヌナズナ・ベンサミアーナタバコ・トマト・ゼニゴケ
- (4) *Pseudomonas syringae*
- (5) 峯彰
- (6) xxxxx@kyoto-u.ac.jp
- (7) XXXXXX